



第7回ワークショップ
「市民センター改修基本構想（案）
～新しい市民センターの使い方を考えよう～」
**具体的な使い方をイメージして
部屋の配置・連携を考える**

令和4年6月12日（日）、第7回「狛江市民センター改修を考える市民ワークショップ」を開催し、総勢14名の方にご参加いただきました。

現在、狛江市では市民センターの改修、新図書館の整備について検討を進めており、本ワークショップは、改修後の市民センターに導入される機能やスペース等についてご意見をいただくことを目的に実施しました。

第7回のテーマは、「市民センター改修基本構想（案）」新しい市民センターの使い方を考えよう。ワークショップのはじめには、基本構想案の構成等や、前回のワークショップまでのご意見を踏まえたブロックプラン更新案を説明しました。

グループワークでは、前回同様ブロックプランを見ながら、新しい市民センターをどのように使っていきたいかについて考えていただきました。

グループワークの後、各チームで話し合った内容を発表していただきました。

市民ワークショップでのご意見（一部抜粋）



ラムネ
チーム



- 1階
 - ・フリースペースは市民まつりなどの際には貸し切り予約できるようにしてほしい
- 2階
 - ・小さい会議室は使い勝手が悪い
 - ・スタディコーナーは不要という意見もあれば、残した方がよいという意見もあった
 - ・スタディコーナーは座席指定とした方がよい
 - ・図書館の業務をする部屋が散らばっているのは図書館側が不便になる
- 地下1階
 - ・キッチンスタジオは災害対応や採光等のため地下ではなく2階に配置した方がよい
 - ・多目的ホールの間仕切り壁は賛否どちらも意見が挙がった
- その他
 - ・部屋名は横文字ではない方がよい
 - ・利用区分は4コマにするのではなく、無料にして1時間単位で借りられる方がよい

- 全体
 - ・子どもの居場所になる公民館としてほしい
 - ・スタディコーナー、ティーンズルームは様々な子どものための場として確保
- 1階
 - ・フリースペースは様々な人々の交流のための場として重要
 - ・フリースペースを発表や食事提供の場としても、イベントとして活用できるように使う
 - ・フリースペースの壁面を展示スペースとして、市民活動の発表の場としてほしい
 - ・市民食堂の場所も公民館スペースとして活用してほしい
 - ・市民活動支援センターの無料で使えるスペースは重要
- 地下1階
 - ・キッチンスタジオは2階のオープンテラス付近に設置、もしくは地下に設置する場合はティーンズルームを活用する

すいか
チーム



- 1階
 - ・フリースペースはコンサートや展示ができる機能
 - ・事務室のスペースで3つの機能が果たせるのか
 - ・新聞雑誌や印刷機の管理をまとめる
 - ・市民活動活動支援センターが公民館の諸室を借りることで利用者は無料にする
 - ・若者のための空間は1階のオープンな空間に設置できないか
- 2階
 - ・図書館ボランティア室、対面朗読室は図書館機能でまとめた配置に
 - ・多目的室（小）は狭いのではないか、小さい会議室が必要なら可動壁を設置した方がよい
 - ・和室は、ベビーカー利用者や舞踊 / ヨガ等の利用者意見も確認してほしい
- 地下1階
 - ・キッチンスタジオ調理スペースのほか近くに食事スペースがあるとよい
 - ・ティーンズルームとキッチンスタジオの位置を変更できないか
 - ・若者の部屋にユースワーカーの設置を検討
- その他
 - ・公民館 / 市民活動支援センターの運用面充実
 - ・椅子やテーブルは軽くて使いやすいものにしてほしい



あさがお
チーム



ワークショップの実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。ワークショップの全ての意見が載っている全録版もこちらからご覧ください。

お問い合わせ先：03-3430-1111

〒201-8585 東京都狛江市和泉本町1-1-5

狛江市政策室・公民館・図書館

市HP

